

令和7年度版 ONE WORLD English Course ② 年間指導計画・評価計画(案)

(March, 2025)

2 年の学習到達目標：自分が関心のあることや日本文化について、内容を整理して伝え合うことができる。

以下の「評価規準(例)」は、指導書『Myデジタル評価・テスト編』掲載の評価問題例と対応しています。
掲載されている評価規準例すべてを実施する必要はありません。

年間指導計画・評価計画を作成する際、実施可能な評価規準を選択し、バランスよく評価ができるように計画してください。

配当時間計109時間

※学習指導要領で示された「言語活動に関する事項」に合致するものについては、(ア)、(イ)、(ウ)のように示す。色アミ・◎は中心的な活動。

学習月		単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）						
2 学 期 制	3 学 期 制			単 元	パ ー ト				「言語活動に関する事項」の分類							●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
									ア 小 学 校 内 容 の 定 着 を 図 る も の	イ 聞 く こ と L	ウ 読 む こ と R	エ 話 す こ と [や り 取 り] SI	オ 話 す こ と [発 表] SP	カ 書 く こ と W								
4 月	4 月	How to Study ～英語学習のポイント～	①～②	1	－	中学2学年末までの目標や、将来なりたい姿を考え、書くことができる。	■英語学習の方法を確認する。 ①教科書の本文を音読しよう！ ②単語の学習を工夫しよう！ ③学んだ英語を使って仲間と会話してみよう！ ④デジタル素材を使いこなそう！ この1年でチャレンジしたいことを書いてみる。															
		辞書の使い方	5		－	中学2学年で登場する、形容詞・副詞の比較級・最上級をはじめ、英和辞典の基本的な使い方を理解することができる。	英和辞典の発音記号や変化形の項目 ■英和辞典で、発音記号、名詞の複数形、動詞の活用形、形容詞・副詞の比較級・最上級などを調べる。															
	Review Lesson Ms. King's Trip with Her Friend 内：キング先生の旅行について概要を聞き取ったり、自分の予定を書いたりすることができる。 【読むこと(イ)】 社会（地理）	6～7	3	1	Part 1	キング先生の旅行について概要を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。予定を表す表現について理解することができる。	be going to、will、there is[are] ～ ■1年で学習した表現を使ってさまざまな情報を理解する。						○	●地域・旅行先 ◇しまなみ海道・松山市への旅行 ▲説明する、質問・応答する、命令する、提案する、気持ちを伝える ☆様々な方法で気持ちを伝える	聞くこと	【知識】be going to、will、have to、shouldなどを使った文やThere＋be動詞＋～.の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】be going to、will、have to、shouldなどを使った文やThere＋be動詞＋～.の文の特徴やきまりの理解をもとに、ゴールデンウィークのことをテーマにしたスピーチの内容を捉える技能を身につけている。						
		8～9		1	Part 2	キング先生の旅行について概要を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。自分がすべきこと、ものの数などについて理解することができる。	have to、should、How many ～ are there ...? ■1年で学習した表現を使ってさまざまな情報を理解する。						○		読むこと	【知識】be going to、will、have to、shouldなどを使った文やHow many ～ are there ...?の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】遠方に住む友人どうしのメールを読んで、be going to、will、have to、How many ～ are there ...? などを含む文章の要点を把握する技能を身につけている。						
		10		1	Grammar	1年で学習した表現を使ってさまざまな情報を理解する。 Grammar： 1. have to、should 2. be going to、will 3. there is[are] ～、How many ～ are there ...? ■Grammar：1年生で学んだ英語のしくみを確認する。						○	◎		○	書くこと	【知識】be going to、will、have to、shouldなどを使った文の特徴やきまりを理解している。 【技能】週末やゴールデンウィークなどの予定について、be going to、will、have to などを用いて正しく書く技能を身につけている。					
	Lesson 1 Assistance Dogs 内：盲導犬や聴導犬について、特徴やできることを理解する。 活：補助犬についての自分の考えを表現することができる。 【書くこと(イ)】 道徳	11～13	7	2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVO1O2の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	My father gave me this book. ■KS：誰かにものをあげたりしたことについて述べる。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。						○	○	(ア、イ)		○	●学校・ウェブサイト・Eメール ◇盲導犬や聴導犬 ▲説明・報告する、質問・応答する、繰り返し、意見を言う、提案する、気持ちを伝える ☆手紙やEメールの書き出しや結びの表現に注目する	聞くこと	【知識】[主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞]の文構造やI think that ～など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞]の文構造やI think that ～など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりの理解をもとに、身近な話題についての発話を聞き取る技能を身につけている。	友達の最近あったうれしかったことについての話を聞いて、要点を適切に捉えている。	友達の最近あったうれしかったことについての話を聞いて、要点を適切に捉えようとしている。
		14～15		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中でSV＋that節の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	I know (that) there aren't enough guide dogs. I hope (that) more people will know about guide dogs. ■KS：自分の意見や知っていることなどを伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。						○	○	(イ)		○		読むこと	【知識】[主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞]の文構造やI think that ～、I'm sorry that ～など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞]の文構造やI think that ～、I'm sorry that ～など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりの理解をもとに、対話文や短い文章の内容を読み取る技能を身につけている。	他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、盲導犬や聴導犬などの文章を読んで要点を捉えている。	他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、盲導犬や聴導犬などの文章を読んで要点を捉えようとしている。
		16～17		2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中でS＋be動詞＋形容詞＋that節の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の要点把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	I'm sorry (that) I was late for class. I was happy (that) you sent me a letter. ■KS：自分の気持ちやその理由を伝える。 R&T：イラストを見ながら、登場人物になりきって本文のできごとを説明する。【要点把握】						○	(I)	○	○	○		話すこと [やり取り]	【知識】[主語＋動詞＋間接目的語＋名詞・代名詞]の文構造やI think that ～など接続詞thatを用いた文の特徴やきまりを理解している。 【技能】あることについて自分の考えなどを、I think that ～などの接続詞thatを用いて話す技能を身につけている。〈パフォーマンステスト〉	ある人にすてきな誕生日プレゼントを贈るために、友達とともに何をプレゼントするかについて自分の考えとその理由を伝え合っている。〈パフォーマンステスト〉	ある人にすてきな誕生日プレゼントを贈るために、友達とともに何をプレゼントするかについて自分の考えとその理由を積極的に伝え合おうとしている。〈パフォーマンステスト〉

学習月	2 学期制	3 学期制	単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）					
					単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
										ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くことL	ウ 読むことR	エ 話すこと[やり取り]SI	オ 話すこと[発表]SP	カ 書くことW							
5月		5月		18～19		1	Task、Lesson 1をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3 で扱った英語のしぐみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③補助犬について自分の考えを整理して書くことができる。【Task 2】	Grammar： 1. SVO ₁ O ₂ [V=give, send, buy など、O ₁ =〈人〉、O ₂ =〈もの〉] 2. I thinkなど＋that節 3. I'm sorryなど＋that節 ■Task：本文やTask 1 などの情報を参考に、友達と意見交換して、補助犬についての自分の考えを書く。 Grammar：Lesson 1で学んだ英語のしぐみを使って、やり取りの練習をする。									話すこと [発表]			補助犬を知らない子どもからの質問に答えるために、教科書で学んだことなどを踏まえて、補助犬について適切に説明している。〈パフォーマンステスト〉	補助犬を知らない子どもからの質問に答えるために、教科書で学んだことなどを踏まえて、補助犬について積極的に説明しようとしている。〈パフォーマンステスト〉
			Activities Plus 1 【話すこと [やり取り] (ア)】	20		帯活動	－	Lesson 1までに学習したさまざまな文のしぐみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。	Lesson 1までの言語材料 ■Lesson 1までに学習したさまざまな文のしぐみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。								◇週末に予定していることなど ☆即興で対話する		【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身につけている。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答しようとしている。	
			Tips for Speaking ① 【話すこと [やり取り] (ア)】	21		1	－	質問と応答のやり取りから、協力して会話をつなげることができる。	あいづちの表現（I see、That's great、Really?、Let me see. など） ■Activities Plusなどでのやり取りで、あいづちなどの表現を使ったり、質問の答えに情報を追加したりして、会話をつなげる。								▲質問・応答する、説明する、など ☆情報を付け加える、相づちを打つ					
			Tips for Reading ① 【読むこと(イ)】	22		1	－	長めの英文の概要を把握することができる。	ほぼ既習の語句による10行程度の英文 ※未習語句の推測の練習のため、あえて未習語句を含む。 ■キーワードやキーセンテンスに注目して、長めの英文の概要を把握する。								▲説明する ☆文章の概要を把握する			妹・弟に説明してあげるために、インターネットの記事を読んで、文章の概要を把握している。	妹・弟に説明してあげるために、インターネットの記事を読んで、文章の概要を把握しようとしている。	
			Lesson 2 Energy Sources for Our Future 内：地球温暖化や環境問題について、現在起きていることを理解する。 活：地球温暖化や環境問題について、今後起こることを想像し、表現することができる。 【話すこと [発表] (ウ)、書くこと (ウ)】 社会（公民）／理科（地学）	23～25		2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中でwhen節を含む文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	I lived in Tokyo when I was little. ■KS：ある動作が行われる「時」や、ある状態になる「時」を伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。								●授業 ◇地球温暖化や環境問題 ▲話し掛ける、質問・応答する、説明・発表する、意見を言う、提案する、気持ちを伝える ☆グラフの読み取り	聞くこと	【知識】過去進行形の文、接続詞whenやbecauseなどを用いた複文の特徴やきまりを理解している。 【技能】過去進行形の文、接続詞whenやbecauseなどを用いた複文の特徴やきまりの理解をもとに、家庭や学校などの日常的な話題の対話を聞き取る技能を身につけている。			
				26～27		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で because節を含む文、if節を含む文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	I like soccer because it's very exciting. If it's fine next Sunday, I will play soccer. ■KS：ある動作が行われる「条件・理由」や、ある状態になる「条件・理由」を伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。		○	○						○	読むこと	【知識】過去進行形の文、接続詞whenやbecauseなどを用いた複文の特徴やきまりの理解をもとに、SNS上のやり取りの内容を読み取る技能を身につけている。	自分の考えの幅を広げるために、エネルギー問題などの社会的話題の文章を読んで、書かれた文章の要点を読み取っている。	自分の考えの幅を広げるために、エネルギー問題などの社会的話題の文章を読んで、書かれた文章の要点を読み取ろうとしている。
				28～29		2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で 過去進行形節の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の要点把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	I was listening to music when my father came home. ■KS：過去のある時点でしていたことを伝える。 R&T：①日本語で本文の内容をまとめた文の空所を補充して、文を完成させる。〔要点把握〕 ②デンマークと日本の発電割合の違いについて話し合う。			○		(I)	○		○	話すこと [やり取り]	【知識】接続詞whenなどを用いた複文の特徴やきまりを理解している。 【技能】過去にしていたことや自分の考えなどについて、接続詞whenなどを用いた複文を用いて話す技能を身につけている。〈パフォーマンステスト〉	自分のことを相手によく知ってもらうために、過去の時点で自分が頑張っていたことを友達と伝え合っている。〈パフォーマンステスト〉	自分のことを相手によく知ってもらうために、過去の時点で自分が頑張っていたことを友達と積極的に伝え合おうとしている。〈パフォーマンステスト〉	
				30～31		1	Task、Lesson 2をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3 で扱った英語のしぐみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③今後起こる可能性のあることについて考えを整理して書き、クラスに共有することができる。【Task 2】	Grammar： 1. when節 2. if節・because節 3. 過去進行形 ■Task：本文やTask 1 などの情報を参考にして、地球温暖化や環境問題についての対策を考えるため、今後起こる可能性のあることについて考えて、クラスに共有する。 Grammar：Lesson 2で学んだ英語のしぐみを使って、やり取りの練習をする。						○	(I)	(ウ)	(I)	話すこと [発表]	【知識】接続詞ifなどを用いた複文の特徴やきまりを理解している。 【技能】自分の考えなどについて、接続詞ifなどを用いた複文を用いて話す技能を身に付けている。〈パフォーマンステスト〉	自分のことを相手によく知ってもらうために、「もしも～なら、」という場合の自分の考えについて、適切に説明している。〈パフォーマンステスト〉	自分のことを相手によく知ってもらうために、「もしも～なら、」という場合の自分の考えについて、積極的に説明しようとしている。〈パフォーマンステスト〉
																			【知識】接続詞ifなどを用いた複文の特徴やきまりを理解している。 【技能】自分の考えなどについて、接続詞ifなどを用いた複文で書く技能を身につけている。〈Task 2で評価〉	自分の考えを知ってもらうために、教科書で習った地球温暖化や環境問題について「もしも～なら、」という場合に起こりうることについて、適切に書いている。〈Task 2で評価〉	自分の考えを知ってもらうために、教科書で習った地球温暖化や環境問題について「もしも～なら、」という場合に起こりうることについて、積極的に書こうとしている。〈Task 2で評価〉	
6月		6月	Tips for Listening ① 【聞くこと(ア)】	32		1	－	アナウンスなどから自分に必要な情報を聞き取ることができる。	コンサートホールのガイドアナウンスの音声 天気予報の音声 ■ガイドアナウンスや天気予報などから、必要な情報を聞き取る。			(I)					●アナウンスや天気予報 ▲説明する ☆要点を聞き取る	聞くこと		見学や遠足などの持ち物を確認するために、説明等を聞いて、自分に必要な情報を把握している。	見学や遠足などの持ち物を確認するために、説明等を聞いて、自分に必要な情報を把握しようとしている。	

学習月		単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）				
				単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類							●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
									ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くことL	ウ 読むことR	エ 話すこと[やり取り]SI	オ 話すこと[発表]SP	カ 書くことW						
		Lesson 3 Design Makes Change 内：紹介されているデザインが、どのように役立っているかを理解する。 活：身のまわりの便利なデザインを探して、どこが便利かを表現することができる。 【話すこと【発表】(イ)、書くこと(イ)】 社会（公民）／美術／家庭	33～35	7	2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で不定詞の名詞的用法の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	I want to become a teacher in the future. ■KS：なりたいことや自分がしたいことを説明する。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。	○	○	○	(ア、イ)		○	●公園、展覧会、授業 ◇ユニバーサルデザイン ▲話し掛ける、質問・応答する、説明・描写・発表する、意見を言う、提案する、気持ちを伝える ☆代名詞に注目する	聞くこと	【知識】不定詞【名詞的用法・副詞的用法】を用いた文の特徴やよまりを理解している。 【技能】不定詞【名詞的用法・副詞的用法】を用いた文の特徴やよまりの理解をもとに、発話の内容を聞き取る技能を身につけている。			
			36～37		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で不定詞の副詞的用法の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	Some African people use pots to carry water. ■KS：動作などの目的を伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。			○	○	(ア、イ)		○	読むこと	【知識】不定詞【名詞的用法・副詞的用法】、動名詞【目的語】を用いた文の特徴やよまりを理解している。 【技能】不定詞【名詞的用法・副詞的用法】、動名詞【目的語】を用いた文の特徴やよまりの理解をもとに、文章の内容を読み取る技能を身につけている。	筆者の考えを理解するために、筆者がつくりたいと考えているものについて説明する英文を読んで、そのものの特徴や文章の要点を捉えている。	筆者の考えを理解するために、筆者がつくりたいと考えているものについて説明する英文を読んで、そのものの特徴や文章の要点を積極的に捉えようとしている。	
			38～39		2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で動名詞【目的語】の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の要点把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	I enjoyed talking with my friends. I like playing the guitar. ■KS：好きなことや楽しんでいることを説明する。 R&T：①日本語で本文の内容をまとめた文の空所を補充して、文を完成させる。【要点把握】 ②身の回りで見かけるユニバーサルデザインの例について話し合う。	○	○	(I)	○		○	話すこと [やり取り]	【知識】不定詞【名詞的用法】を用いた文の特徴やよまりを理解している。 【技能】不定詞【名詞的用法】を用いた文の特徴やよまりの理解をもとに、考えを伝えたり、相手に質問したり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。〈Task 2に続いて、パフォーマンス評価〉	身の回りの便利なデザインの工夫について友達が考えたことを知るために、ペアでお互いが考えたデザインについて伝え合っている。〈Task 2に続いて、パフォーマンス評価〉	身の回りの便利なデザインの工夫について友達が考えたことを知るために、ペアでお互いが考えたデザインについて伝え合おうとしている。〈Task 2に続いて、パフォーマンス評価〉		
			40～41		1	Task、Lesson 3をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3 で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③身の回りの便利なデザインについてメモを書き、発表することができる。【Task 2】	Grammar： 1. 不定詞【名詞的用法】 2. 不定詞【副詞的用法】 3. 動名詞【目的語】 ■Task：本文やTask 1などの情報を参考にして、身のまわりの便利なデザインについてメモをつくり、発表する。 Grammar：Lesson 3で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。	○		○	(イ、ウ)	(ウ)	○	話すこと [発表]	【知識】不定詞【名詞的用法・副詞的用法】、動名詞【目的語】を用いた文の特徴やよまりを理解している。 【技能】不定詞【名詞的用法・副詞的用法】、動名詞【目的語】を用いた文の特徴やよまりの理解をもとに、身の回りの便利なデザインについて口頭で説明する技能を身につけている。〈Task 2で評価〉	身の回りの便利なデザインの工夫について伝えるために、用意したメモをもとにしながら、自分が伝えたいものについて説明している。〈Task 2で評価〉	身の回りの便利なデザインの工夫について伝えるために、用意したメモをもとにしながら、自分が伝えたいものについて積極的に説明しようとしている。〈Task 2で評価〉		
				Activities Plus 2 【話すこと【やり取り】(ア)】	42		帯活動	－	Lesson 3までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。	Lesson 3までの言語材料 ■Lesson 3までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。					(ア)		◇昨晚にしていたことなど ☆即興で対話する	話すこと [やり取り]	【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身につけている。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。
		Tips for Writing ① 【書くこと(イ)】	43		1	－	マッピング図を描いて、まとまった文章を書くことができる。	参考資料：自分の住んでいる町を紹介する10行程度の英文例 ■マッピング図を描いて、英語でまとまった文章を書き、自分の住んでいるところを紹介する。						(I)	●作文 ◇自分の町の紹介 ▲説明する、意見を言う、気持ちを伝える ☆マッピング図	書くこと		自分の町についてクラスメートに知ってもらうために、書く内容や構成などを整理し、まとまりのある文章を書いている。	自分の町についてクラスメートに知ってもらうために、書く内容や構成などを整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。	
		Project 1 Ideas for Change 活：解決すべき課題に対し、自分たちにできる取り組みを考え、表現することができる。 【話すこと【発表】(イ)、書くこと(イ)】	44～45	2	－		解決すべき課題に対し、自分たちにできる取り組みを考え、表現することができる。	既習事項 ■関心のある問題や気になっていることについて、英語で発表原稿を書き、クラスで発表する。		(I)	○	○	(ウ)	(I)	●学校 ◇環境問題やデザインについての提案をする ▲発表する、話し掛ける、説明・描写する、質問・応答する	話すこと [発表]	【知識】環境問題やUDなどの解決すべき課題について、自分たちにできることを説明する際に必要な語彙や表現を理解している。 【技能】解決すべき課題について自分たちにできることを説明するまとまりのある内容を発表する技能を身につけている。	環境問題やUDなどの問題を解決するために、自分たちにできることを説明するまとまりのある内容を、発表原稿をもとにグループで発表している。	環境問題やUDなどの問題を解決するために、自分たちにできることを説明するまとまりのある内容を、発表原稿をもとにグループで積極的に発表している。	
																書くこと	【知識】環境問題やUDなどの解決すべき課題について、自分たちにできることを説明する際に必要な語彙や表現を理解している。 【技能】解決すべき課題について自分たちにできることを説明するまとまりのある内容を書く技能を身につけている。	環境問題やUDなどの問題を解決するために、自分たちにできることを説明するまとまりのある内容を、発表原稿としてまとめている。	環境問題やUDなどの問題を解決するために、自分たちにできることを説明するまとまりのある内容を、発表原稿として積極的にまとめようとしている。	
7月	7月	Useful Expressions ① 【話すこと【やり取り】(イ)】	46		1	－	飲食店で注文することができる。	飲食店での注文の表現 May I take your order? What would you like? I'd like ～. A cup of coffee, please. など ■モデル会話を参考にして、飲食店で注文するやり取りの練習をする。					(イ)		●レストラン ◇注文 ▲話し掛ける、注文を伝える、質問・応答する	話すこと [やり取り]	【知識】飲食店で用いる表現の意味や働きを理解している。			
																書くこと	【知識】飲食店で用いる表現の意味や働きを理解している。			

学習月		単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）						
2 学 期 制	3 学 期 制			単 元	パ ー ト				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
									ア 小 学 校 内 容 の 定 着 を 図 る も の	イ 聞 く こ と L	ウ 読 む こ と R	エ 話 す こ と [や り 取 り S]	オ 話 す こ と [発 表] SP	カ 書 く こ と W								
		Reading 1 Six Amazing Things about Penguins 内：イラストや写真を参考にしながら、説明文の概要を理解できる。 【読むこと(イ)】 理科（生物）	47～50		4	1、2、3、4、5、6、Post-Reading Activity	イラストや写真を参考にしながら、説明文の概要を理解できる。	既習事項 ■動物の生態についての説明文を読んで概要を理解する。 PRA：説明文を読んでわかったことで驚いたことやその理由を英語で書く。自分でも調べて驚くべき点を見つけてそれをまとめ、発表する。									●説明文 ◇ペンギンに関する驚くべき事実 ☆イラストや写真に注意しながら読む。文章の概要を理解する	読むこと		身近な生物のことをより深く知るために、簡単な文や語句で書かれている説明文を読み、概要を理解している。		
																		書くこと		ペンギンのことをより深く知るために、教科書に書かれていない、“7つめの驚くべき点”だと自分が考えたことについて、文章にまとめて書いている。〈Post-Reading Activityで評価〉	ペンギンのことをより深く知るために、教科書に書かれていない、“7つめの驚くべき点”だと自分が考えたことについて、積極的に文章にまとめて書こうとしている。〈Post-Reading Activityで評価〉	
9 月	9 月	Lesson 4 Workplace Experience 内：アヤとボブがどんな職場体験をしたかを理解する。 活：自分の思っていることや感じていることを表現することができる。 【話すこと〔発表〕(イ)、書くこと(ア)】 社会（公民）／家庭／道徳	51～53		2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で不定詞の形容詞的用法の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	I don't have time to watch TV today. I want something cold to drink. ■KS：何をするための時間や機会であるかを説明する。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。								●学校、レポート文 ◇職場体験 ▲話し掛ける、質問・応答する、説明・描写・報告する、意見を言う、気持ちを伝える ☆数字の変化に対する、登場人物の意見に注目する	聞くこと	【知識】動名詞〔主語〕や、〔主語＋動詞＋間接目的語＋thatで始まる節〕の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】動名詞〔主語〕や〔主語＋動詞＋間接目的語＋thatで始まる節〕の文の特徴やきまりの理解をもとに、発話の内容を聞き取る技能を身につけている。	他社の経験や思いなどを知るために、友達のレポート発表を聞いて、要点を捉えている。	他社の経験や思いなどを知るために、友達のレポート発表を聞いて、要点を捉えようとしている。		
			54～55		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で動名詞〔主語〕の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	Taking care of children is very hard. ■KS：何かをすることについて述べる。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。								読むこと	【知識】不定詞〔形容詞的用法〕、動名詞〔主語〕や、〔主語＋動詞＋間接目的語＋thatで始まる節〕の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】不定詞〔形容詞的用法〕、動名詞〔主語〕や〔主語＋動詞＋間接目的語＋thatで始まる節〕の文の特徴やきまりの理解をもとに、文章の内容を読み取る技能を身につけている。					
			56～57		2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVO ₁ O ₂ [O ₂ =that節]の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の概要把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	Kenta's mother told me that Kenta was sick in bed. My father taught me that helping people in need is important. ■KS：誰が誰に何を教えたかなどを説明する。 R&T：①日本語で本文の内容をまとめた文の空所を補充して、文を完成させる。〔概要把握〕 ②本を買うのが書店がよいかオンラインがよいか理由を添えて自分の意見を言う。								話すこと [やり取り]	【知識】動名詞〔主語〕の特徴やきまりを理解している。 【技能】動名詞〔主語〕を用いて正確に話す技能を身につけている。〈パフォーマンステスト〉	他者の考えを学ぶために、ペアになってそれぞれが健康のために特に大切だと思うことについて質問し、答え合っている。〈パフォーマンステスト〉	他者の考えを学ぶために、ペアになってそれぞれが健康のために特に大切だと思うことについて積極的に質問し、答え合おうとしている。〈パフォーマンステスト〉			
			58～59		1	Task、Lesson 4をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3 で扱った英語のしぐみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③自分がおもしろいと感じていることや難しいと知っていることなどについてメモをつくり、発表することができる。【Task 2】	Grammar： 1. 不定詞〔形容詞的用法〕 2. 動名詞〔主語〕 3. SVO ₁ O ₂ [V=tellなど、O ₂ =that節] ■Task：例を参考にして、自分がおもしろいと感じていることや難しいと知っていることなどについてメモをつくり、発表し合う。 Grammar：Lesson 4で学んだ英語のしぐみを使って、やり取りの練習をする。								話すこと [発表]	【知識】動名詞〔主語〕などを用いる文の特徴やきまりを理解している。 【技能】動名詞〔主語〕などを用いる文の特徴やきまりの理解をもとに、自分がおもしろいと感じていることや難しいと知っていることなどについて、メモを見ながら口頭で説明している。〈Task 2で評価〉	自分のことをよく知ってもらうために、自分がおもしろいと感じていることや難しいと知っていることなどについて、メモを見ながら口頭で説明している。〈Task 2で評価〉	自分のことをよく知ってもらうために、自分がおもしろいと感じていることや難しいと知っていることなどについて、メモを見ながら口頭で積極的に説明しようとしている。〈Task 2で評価〉			
				Tips for Speaking ② 【話すこと〔やり取り〕(ア)、話すこと〔発表〕(ア)】	60		1	－	英語での言い方がわからないものを、知っていることばや表現を使って説明することができる。	soccer、library、doctor など、身の回りのことに関する語句（絵カードは、「まなびリンク」のQRコンテンツ） ■英語での言い方がわからないものを知っていることばや表現を使って説明する。ウェブサイトを用意したカードを使って説明ゲームをする。									▲説明・描写する ☆さまざまな角度から説明する	話すこと [発表]		わからない単語があってもコミュニケーションを継続するために、人物や事物などの説明を即興で行っている。

学習月		単元名	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）				
2 学 期 制	3 学 期 制	単 元		パ ー ト	「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
					ア 小 学 校 内 容 の 定 着 を 図 る も の				イ 聞 く こ と L	ウ 読 む こ と R						エ 話 す こ と [や り 取 り S I]	オ 話 す こ と [発 表] S P	カ 書 く こ と W		
		Lesson 5 How to Celebrate Halloween 内：ハロウィーンなどの、海外の伝統行事に関する情報を理解する。 活：自分がしたいことを実現するために必要な情報を、教えてもらうやり取りができる。	61～63		2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中でSV＋疑問詞＋to不定詞の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文内容に沿って、ジャック・オ・ランタンのつくり方を説明することができる。【T&T】	Do you know how to use this computer? I didn't know what to say. ■KS：動作の仕方やすべきことなどを述べる。 T&T：イラストを見ながらつくり方を説明する。							●家庭、ウェブサイト ◇ハロウィーンの文化など ▲話し掛ける、質問・応答する、説明・描写する、手順を伝える、意見を言う、気持ちを伝える ☆異なる国の文化・行事の似ている点や異なる点に注目する	聞くこと	【知識】[主語＋動詞（＋間接目的語）＋how など＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[主語＋動詞（＋間接目的語）＋how など＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文の特徴やきまりの理解をもとに、短い発表の内容を聞き取る技能を身につけている。			
10 月	10 月	【話すこと [やり取り] (ア)】 社会（地理・歴史）	64～65		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で it ＋be動詞＋～（＋for 人）＋to不定詞の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②ハロウィーンについての記事（Part 2本文）に対する、自分のコメントを書くことができる。【T&T】	It is interesting to learn about Halloween. It is easy for me to move this table. ■KS：何かをすることが、ある人にとってどうであるが説明する。 T&T：記事（教科書本文）に対する自分のコメントを書く。									読むこと	【知識】[主語＋動詞（＋間接目的語）＋how など＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[主語＋動詞（＋間接目的語）＋how など＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文の特徴やきまりの理解をもとに、短い文章の内容を読み取る技能を身につけている。	友達の発表内容を理解するために、他国の祭りについて説明する文章を読み、要点や発表者の考えなどを捉えている。	友達の発表内容を理解するために、他国の祭りについて説明する文章を読み、要点や発表者の考えなどを捉えようとしている。
			66～67	7	2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVO ₁ O ₂ [O ₂ ＝疑問詞＋to不定詞] の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の概要把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	Bob taught me how to get to the station. ■KS：やり方を知っていることを人に伝えたことなどを述べる。 R&T：①日本語で本文の内容をまとめた文の空所を補充して、文を完成させる。〔概要把握〕 ②海外に紹介したい日本の伝統行事について調べて2～3文の英語で説明する。									話すこと [やり取り]		自分がしたいことを実現するために、ペアで友達に助言を求め、適切なやり取りをし合っている。〈Task 2で評価〉	自分がしたいことを実現するために、ペアで友達に助言を求め、積極的にやり取りをし合おうとしている。〈Task 2で評価〉
			68～69		1	Task、Lesson 5をふり返る う、Grammar	①Part 1～3 で扱った英語のしぐみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③自分がしたいことを実現するために必要な情報を友だちに教えてもらい、わかったことを表に整理することができる。【Task 2】	Grammar： 1. SVO [O＝疑問詞＋to不定詞] 2. It is ～ (for＋〈人〉) to do 3. SVO ₁ O ₂ [V＝tellなど、O ₁ ＝〈人〉、O ₂ ＝how to doなど] ■Task：例を参考にして、自分がしたいことを実現するために必要な情報を友だちに教えてもらい、わかったことを表に整理する。 Grammar：Lesson 5で学んだ英語のしぐみを使って、やり取りの練習をする。									話すこと [発表]	【知識】[howなど＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[howなど＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文の特徴やきまりの理解をもとに、日本文化について口頭で説明する技能を身につけている。	調べた日本文化について海外の中学生に伝えるために、話の構成を考え、まとまりのある内容を口頭で説明している。〈パフォーマンステスト〉	調べた日本文化について海外の中学生に伝えるために、話の構成を考え、まとまりのある内容を口頭で積極的に説明しようとしている。〈パフォーマンステスト〉
																	書くこと	【知識】[主語＋動詞（＋間接目的語）＋how など＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[主語＋動詞（＋間接目的語）＋how など＋ to＋動詞の原形] や [It＋be動詞＋～（＋for...） to＋動詞の原形] の文を用いて正確に書く技能を身につけている。		
		Activities Plus 3 【話すこと [やり取り] (ア)】	70		常活動	－	Lesson 5までに学習したさまざまな文のしぐみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。	Lesson 5までの言語材料 ■Lesson 5までに学習したさまざまな文のしぐみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。							◇作り方を知っている料理など ☆即興で対話する	話すこと[やり取り]	【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身につけている。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答しようとしている。	
		Tips for Reading ② 【読むこと(ア)】	71		1	－	目的や条件に応じて必要な情報を読み取ることができる。	文化センターのイベントや、カルチャー教室の開催などについて詳細を記したポスター ■イベントなどのポスターから、目的や条件によって異なる情報を読み取る。							●ポスター ◇日本文化教室の講座 ▲説明する ☆必要な情報を読み取る	読むこと		重要な情報を得るために、ポスターや掲示から自分に必要な情報を捉えている。	重要な情報を得るために、ポスターや掲示から自分に必要な情報を捉えようとしている。	
		Tips for Speaking ③ 【話すこと [やり取り] (ア)、話すこと [発表] (ア)】	72	1	－		図や表などの内容を、知っている英語を使って伝えることができる。	既習表現 ■図や表などの内容を、知っている英語を使って伝える。 ゴミ収集に関する貼紙の内容を説明する。							●地域 ◇ごみ分別のルール ▲説明・描写する、質問・応答する ☆相手に伝わるように、イラストや図・表などを利用しながら表現する	話すこと [やり取り]		困っている外国人に説明するために、ポスターの内容について、即興で説明するやり取りをしている。〈パフォーマンステスト〉	困っている相手の質問に答えるために、図や表の内容について、即興で説明するやり取りを積極的にしようとしている。〈パフォーマンステスト〉	
																話すこと [発表]		新たに住むことになった外国人に伝えるために、図や表の内容をもとにゴミの出し方について、即興で口頭で説明している。〈パフォーマンステスト〉	新たに住むことになった外国人に伝えるために、図や表の内容をもとにゴミの出し方について、即興で積極的に口頭で説明しようとしている。〈パフォーマンステスト〉	

学習月		単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）				
				単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類					●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
									ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くことL	ウ 読むことR	エ 話すこと[やり取り]SI	オ 話すこと[発表]SP						カ 書くことW	
11月	11月	Lesson 6 Castles and Canyons 内：日本や海外の観光名所について紹介されている内容を理解する。 活：ものごとを比較した結果やその順位を伝えることができる。 【話すこと [やり取り] (イ)、書くこと(ア)】 社会（地理・歴史）	73～75	7	2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で形容詞・副詞の比較級(-er than)・最上級(the -est)の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	The Great Buddha is taller than our school. This mountain is the highest in Japan. ■KS：2つのものを比べてその違いを伝えたり、3つ以上のものを比べていちばんのものを伝えたりする。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。								●旅行先、学校 ◇観光名所 ▲話し掛ける、気持ちを伝える、質問・応答する、説明・描写・発表する、意見を言う ☆場所などのすばらしさを伝えるさまざまな表現に注目する	聞くこと	【知識】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やきまりの理解をもとに、人物や事物などの説明について聞き取る技能を身につけている。	発話者のことをよく知るために、海外の中学生の自己紹介を聞いて、要点を捉えている。	発話者のことをよく知るために、海外の中学生の自己紹介を聞いて、要点を捉えている。
			76～77		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で形容詞・副詞の比較級(more ～ than)・最上級(the most ～)の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	This book is more interesting than that one. Himeji Castle is the most popular in Japan. ■KS：2つのものを比べてその違いを伝えたり、3つ以上のものを比べていちばんのものを伝えたりする。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。							読むこと		【知識】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やきまりの理解をもとに、ある事物の説明について読み取る技能を身につけている。			
			78～79		2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で同等比較(as ～ as ...)や最上級 the best などの意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の概要把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	Kyoto is as popular as Nara. I like summer the best. ■KS：2つのものが同じくらいであることや、いちばん好きであることを伝える。 R&T：①日本語で本文の内容をまとめた文の空所を補充して、文を完成させる。〔概要把握〕 ②自分のお気に入りの場所について、2～3文の英語で紹介する。							話すこと [やり取り]			世界の国や地理についての理解を深めるために、グループでクイズをつくって出し合っている。〈Task 2で評価〉	世界の国や地理についての理解を深めるために、グループでクイズをつくって出し合っている。〈Task 2で評価〉	
																	話すこと [発表]		ALTに自分の住んでいる町や学校を紹介するために、事実や自分の思いを交えて適切に説明している。	ALTに自分の住んでいる町や学校を紹介するために、事実や自分の思いを交えて積極的に説明しようとしている。
80～81	1	Task、Lesson 6をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3 で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③世界の国や地理についてのクイズをつくって出し合い、分かったことを書くことができる。【Task 2】	Grammar： 1. 比較級 2. 最上級 3. 比較の表現 ■Task：例を参考に、世界の国や地理についてのクイズをつくって出し合い、分かったことを書く。 Grammar：Lesson 6で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。							書くこと	【知識】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】人物や事物などについて、形容詞や副詞を用いた比較表現を用いて書く技能を身につけている。								
11月	11月	対で覚えたい形容詞 【話すこと [やり取り] (イ)】	82	1	－	反対の意味をもつ語がある形容詞の組み合わせを理解することができる。さまざまな形容詞を使って、比較級・最上級を含むクイズをつくり、友達と出し合うことができる。	反対語の意味をもつ語がある形容詞（long⇔short、tall⇔short、high⇔low、hard⇔soft、hot⇔cold、thick⇔thin、heavy⇔light、many⇔few、safe⇔dangerous） Which is ～, A or B? What is the 最上級＋名詞＋in ～? ■さまざまな形容詞を使って、比較級・最上級を含むクイズをつくる。									話すこと [やり取り]	【知識】形容詞や副詞を用いた比較表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】形容詞や副詞を用いた比較表現を用いて出題する技能を身につけている。			
		Tips for Writing ② 【書くこと(イ)】	83	1	－	全体の構成を考えてスピーチ原稿を書くことができる。	■例を参考に、①Opening（導入）②Body（展開）③Closing（まとめ）という全体の構成を考えてスピーチ原稿を書く。									書くこと	【知識】スピーチ原稿を作成する際の構成のきまりについて理解している。 【技能】スピーチ原稿の構成のきまりについての知識をもとに、原稿を作成する技能を身につけている。			
		Tips for Speaking ④ 【話すこと [発表] (イ)】	84	1	－	スピーチをよいものにするためにすべきことを、話し手・聞き手の両方の立場から理解し、実践することができる。	■話し手、あるいは聞き手の両方の立場を理解し、スピーチをよいものにするために、話し手あるいは聞き手としての目標や気を付けることを設定し、スピーチ後に達成度をふり返る。									話すこと [発表]	【知識】スピーチを発表する際の注意点、スピーチを聞く際の注意点について理解している。	クラスでおこなうスピーチ発表会をよいものにするために、スピーチを発表する際の注意点、スピーチを聞く際の注意点を意識して、それぞれを実行している。	クラスでおこなうスピーチ発表会をよいものにするために、スピーチを発表する際の注意点、スピーチを聞く際の注意点を意識して、それぞれを積極的に実行しようとしている。	

学習月		単元名	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）								
2 学 期 制	3 学 期 制	単 元		パ ー ト	「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									
					ア 小学校内容の定着を図るもの				イ 聞くことL	ウ 読むことR						エ 話すこと[やり取り]SI	オ 話すこと[発表]SP	カ 書くことW						
		Lesson 7 The Gift of Giving 内：紹介されている写真や実験についての情報を理解する。 活：身近な建物・施設がどのようにつくられたかなどを表現することができる。 【話すこと〔発表〕(イ)、書くこと(ア)】 社会（公民）	85～87	7	2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中で受け身の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	This card was printed in 1843. This card was sent by my aunt. ■KS：（誰かによって）なされる「なされた」ことを伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。			○	○	(ア、イ)		○	●授業、学校、クラス新聞 ◇チャリティ活動 ▲話し掛ける、説明する、質問・応答する、説明・描写・発表する、意見を言う ☆主張を裏づけるために挙げられた具体例に注目する	聞くこと	【知識】受け身の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】受け身の文の特徴やきまりの理解をもとに、アナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。	場面や状況を把握するために、英文の内容から、概要を聞き取っている。	場面や状況を把握するために、英文の内容から、概要を聞き取ろうとしている。				
			88～89		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中で受け身の疑問文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	Was this photo taken in Osaka? Where was this photo taken? ■KS：（誰かによって）なされる「なされた」か、とたずねる。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。			○	○	(ア、イ)		○						世の中のできごとなどを知るために、記事を読んで概要を捉えている。	世の中のできごとなどを知るために、記事を読んで概要を捉えようとしている。		
			90～91		2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中で助動詞＋受け身の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の要点把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	Money should be spent wisely. Giving can be done by anyone. ■KS：されるべきことや、される可能性があることを述べる。 R&T：①日本語で本文の内容をまとめた文の空所を補充して、文を完成させる。〔要点把握〕 ②記事（教科書本文）を読んで思ったことについて、2～3文の英語で言う。			○	(イ)	○	(ウ)	○								自分のことを知ってもらったり、相手のことを知ったりするために、お互いのお気に入りの写真について説明したり質問したりしている。	自分のことを知ってもらったり、相手のことを知ったりするために、お互いのお気に入りの写真について説明したり質問したりしようとしている。
			12月		12月	92～93	1	Task、Lesson 7をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3 で扱った英語のしぐみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③自分の住む地域の歴史を外国人に紹介する英文をつくって、発表することができる。【Task 2】	Grammar： 1. 受け身〔肯定文〕 2. 受け身〔疑問文〕 3. 助動詞＋受け身 ■Task：例を参考にして、自分の住む地域の歴史を外国人に紹介する英文をつくって、発表する。 Grammar：Lesson 7で学んだ英語のしぐみを使って、やり取りの練習をする。			○	○	(イ)									
		Activities Plus 4 【話すこと〔やり取り〕(ア)】		94						帯活動	－	Lesson 7までに学習したさまざまな文のしぐみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。	Lesson 7までの言語材料 ■Lesson 7までに学習したさまざまな文のしぐみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。					(ア)		◇最も好きな外国料理など ☆即興で対話する	話すこと〔やり取り〕	【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身につけている。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答しようとしている。
		Tips for Listening ② 【聞くこと(ア)】	95		1	－	空港のアナウンスから必要な情報を聞き取ることができる。	空港のアナウンス音声 ■搭乗チケットの内容を見ながら空港のアナウンスを聞き取る。			(イ)					聞くこと	旅行や遠足をよいものにするために、空港の放送や先生からの説明を聞いて、必要な情報を適切に捉えている。	旅行や遠足をよいものにするために、空港の放送や先生からの説明を聞いて、必要な情報を捉えようとしている。						
		Project 2 My Dream Travel 行ってみたい名所を、その魅力や理由とともに紹介することができる。 【聞くこと(イ)、話すこと〔発表〕(イ)、書くこと(イ)】	96～99	2	－	行ってみたい名所を、その魅力や理由とともに紹介することができる。	既習事項 参考資料：What Place do You Want to Visit?（日本と世界の名所紹介例） ■参考資料の例文をふまえて、行ってみたい名所と、そこに行ってみたい理由、どんな場所か、そこでしたいことなどを紹介する英文を考えて、クラスで発表する。		(イ)	○		(イ)	(イ)	●授業 ◇行ってみたい国や地域 ▲説明する、意見を言う					話すこと〔発表〕	【知識】行ってみたい場所について、その魅力や理由とともに説明する際に必要な語彙や表現を理解している。 【技能】行ってみたい場所について、その魅力や理由とともに説明する技能を身につけている。	行ってみたい場所について、その魅力や理由とともに紹介する原稿をもとに発表している。	行ってみたい場所について、その魅力や理由とともに紹介する原稿をもとに発表しようとしている。		
																書くこと	【知識】行ってみたい場所について、その魅力や理由とともに説明する際に必要な語彙や表現を理解している。 【技能】行ってみたい場所について、その魅力や理由とともに説明するまとまりのある文章を書く技能を身につけている。	自分の行ってみたいところをクラスメートに紹介するために、読み手にわかりやすい構成でまとまりのある文章を書いている。					自分の行ってみたいところをクラスメートに紹介するために、読み手にわかりやすい構成でまとまりのある文章を書こうとしている。	
		Reading 2 The Gift of Tezuka Osamu 内：伝記を読んで、主なできごとを時系列に沿って整理する。 【読むこと(イ)】 社会（歴史）	100～105		5	1、2、3、4、5、Post-Reading Activity	伝記を読んで、主なできごとを時系列に沿って整理することができる。	既習事項 ■伝記を読んで、主なできごとを時系列で整理する。 PRA：(1)本文の内容にあてはまるものには○、あてはまらないものに×を書く。(2)本文の内容に合うように、英文の続きを書く。(3)本文の各パートに日本語でタイトルをつける。				(ア、ウ)			●伝記 ◇手塚治虫の生涯 ☆主なできごとを時系列に沿って整理する	読むこと		ある人物について書かれた文章を読んで、時間の流れに沿ってできごとを理解しながら、事実や書き手の伝えたいことを理解している。	ある人物について書かれた文章を読んで、時間の流れに沿ってできごとを理解しながら、事実や書き手の伝えたいことを理解しようとしている。					

学 習 月	2 学 期 制	3 学 期 制	単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）						
					単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫							
										ア 小学校内容の定着を図るもの	イ 聞くことL	ウ 読むことR	エ 話すこと[やり取り]SI	オ 話すこと[発表]SP	カ 書くことW								
			Useful Expressions ② 【話すこと [やり取り] (イ)】	106	1	－		要望を伝えて、自分が望むものを買うことができる。 買いもので使う表現 I'm looking for ～. It's too expensive for me. Do you have any cheaper one? May I try it on? など ■モデル会話を参考にして、洋服店で買いものをするやり取りの練習をする。				○	(イ)		●洋服店 ◇買い物 ▲話し掛ける、要望を伝える、依頼・提案する	読むこと	【知識】買いものをするときの表現の意味や働きを理解している。						
																話すこと [やり取り]	【知識】買いものをするときの表現の意味や働きを理解している。						
1 月	1 月		Lesson 8 Rakugo in English 内：桂かい枝さんの体験や、落語のストーリーを理解する。 活：人に協力してほしいことを表現することができる。 【話すこと [やり取り] (イ)】 国語／社会（公民）	107～109	7	2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中でSV＋疑問詞節の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	I don't know which story he's going to perform. Do you know when he's coming? ■KS：いつ【どこで】何がどうするのか知っている、などと伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。					○	○	(ア、イ)		○	●学校 ◇英語落語 ▲話し掛ける、聞き直す、気持ちを伝える、説明・発表する、意見を言う、依頼する ☆話の展開に注意して、読み取る	聞くこと	【知識】[主語＋動詞＋（＋間接目的語）＋whatなどで始まる節]の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[主語＋動詞＋（＋間接目的語）＋whatなどで始まる節]の文の理解をもとに、必要な情報を聞き取る技能を身につけている。		
				110～111		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVO ₁ O ₂ [O ₂ ＝疑問詞節]の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②登場人物の落語家になりきって本文の話を演じ、続きを自由に展開してやり取りすることができる。【T&T】	Kenta tells me how difficult it is to win the game. ■KS：あることをするのがどんなに難しいか教えてもらった、などの内容を伝える。 T&T：登場人物の落語家になりきって本文の話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。					○	○	○	(イ)	○		読むこと	【知識】[主語＋動詞＋whatなどで始まる節]の文、[主語＋tell、wantなど＋目的語＋to＋動詞の原形]の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】[主語＋動詞＋whatなどで始まる節]の文、[主語＋tell、wantなど＋目的語＋to＋動詞の原形]の文の特徴やきまりの理解をもとに、メール文の内容や求められていることを読み取る技能を身につけている。		
				112～113		2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVO＋to不定詞 [V＝tell、want など]の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の要点把握をする問いに適切に答えることができる。【R&T】	My mother asked me to open the door. I want you to show me the textbook. ■KS：人にしてほしいことを伝えたり頼んだりする。 R&T：落語『動物園』のオチを考えて、教科書本文の最後のセリフ（空欄）を言う。					○	◎	○	(イ)	○		話すこと [やり取り]		パーティーを楽しむものにするために、友達にしてほしいことを考えて、適切に伝えている。〈Task 2で評価〉	パーティーを楽しむものにするために、友達にしてほしいことを考えて、積極的に伝えようとしている。〈Task 2で評価〉
				114～115		1	Task、Lesson 8をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③友達とのパーティーを楽しむものにするために、友達にしてほしいことを伝えることができる。【Task 2】	Grammar： 1. SVO [O＝疑問詞＋SV]（間接疑問文） 2. SVO ₁ O ₂ [V＝tell、ask など、O ₁ ＝〈人〉、O ₂ ＝名詞 [名詞節（疑問詞＋SV）] 3. SVO＋to do [V＝want、tell、askなど] ■Task：友達とのパーティーを楽しむものにするために、友達にしてほしいことを伝える。 Grammar：Lesson 8で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。				○	(イ)		(ア)	話すこと [発表]			落語や桂かい枝氏について、感想などを友達に伝えるために、読んでわかったことや感想などを整理し、発表している。〈パフォーマンステスト〉	落語や桂かい枝氏について、感想などを友達に伝えるために、読んでわかったことや感想などを整理し、発表しようとしている。〈パフォーマンステスト〉		
																	書くこと	【知識】[主語＋動詞＋whatなどで始まる節]の文、[主語＋tell、wantなど＋目的語＋to＋動詞の原形]の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】知っていることや知らないことなどについて、[主語＋動詞＋whatなどで始まる節]の文、[主語＋tell、wantなど＋目的語＋to＋動詞の原形]の文を用いて書く技能を身につけている。					
								Tips for Reading ③ 【読むこと(ウ)】	116	1	－		図表を使った説明文を適切に読み取ることができる。 グラフをとまなう英文 ■グラフを使った文章を読み取るコツ					(エ)				●表やグラフを含む文 ◇地球温暖化 ▲説明する ☆文章の概要・要点把握	読むこと

学習月		単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）				
				単元	パート				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫					
									ア 小学校内容の定義を図るもの	イ 聞くことL	ウ 読むことR	エ 話すこと[やり取り]SI	オ 話すこと[発表]SP	カ 書くことW						
		Lesson 9 Gestures and Sign Language 内：ジェスチャーや手話が持つ意味や、注意すべきことを理解する。 活：「何と呼ばれるものか」「どういうものか」などを説明することができる。	117～119		2	扉、Part 1	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVOC [C＝形容詞]の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②目的や場面に沿って、やり取りをふくらませることができる。【T&T】	The news made me happy. ■KS：どんな気持ち〔状態〕になったかを伝える。 T&T：登場人物になりきって本文の会話を演じ、続きを自由に展開してやり取りする。			○	○	(ア、イ)		○	●学校 ◇ジェスチャー・手話 ▲説明する、気持ちを伝える、考えを伝える、質問・応答する ☆対比しながら読み取る	聞くこと	【知識】動詞makeやcallなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋名詞・形容詞〕、動詞helpを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞〕の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】動詞makeやcallなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞〕の文の理解をもとに、誰がどうするなどの情報を聞き取る技能を身につけている。	聞いた話を整理して理解するために、ALTが最近行ってよかったところについての話を聞いて、要点を適切に捉えている。	聞いた話を整理して理解するために、ALTが最近行ってよかったところについての話を聞いて、要点を適切に捉えようとしている。
2月	2月	【話すこと〔やり取り〕(イ)】 社会（公民）／道徳	120～121		2	Part 2	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVOC [C＝名詞]の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②登場人物になりきって、レポート（教科書本文）の続きを書くことができる。【T&T】	My friends call me Kenta. ■KS：呼び名は何かを伝える。 T&T：レポート（教科書本文）の筆者になりきって、レポートの続きを書く。			○	○	○	○	(イ)		読むこと	【知識】動詞makeなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋形容詞〕、動詞helpを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞〕の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】動詞makeなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞〕の文の理解をもとに、手話に関する記事の内容を読み取る技能を身につけている。	海外の手話について英語で発表をするために、英文記事を読んで適切に情報を読み取っている。	海外の手話について英語で発表するために、英文記事を読んで適切に情報を読み取ろうとしている。
			122～123	7	2	Part 3	①本文の内容を捉え、文脈の中でSVO＋原形不定詞の文の意味・形・使い方を理解することができる。【本文、KS、TK、LL】 ②本文の概要把握として、イラストを見ながら日本手話とアメリカ手話の違いについて「goodbye」と「like」について紹介することができる。【R&T】	Let me talk about my winter vacation. Bob helped me do my English homework. ■KS：許可を得たり、誰かが手伝ってくれることを伝えたりする。 R&T：教科書本文にならって、イラストを見ながら日本手話とアメリカ手話の違いについて「goodbye」と「like」について紹介する。【概要把握】			○	(ウ)	○	(ウ)	○		話すこと〔やり取り〕	【知識】動詞callなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋名詞・形容詞〕の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】あるものの情報について、動詞callなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋名詞・形容詞〕の文を用いて、口頭で説明する技能を身につけている。〈Task 2で評価〉	海外から来た友達に知ってもらうために、日本のお店に売っている商品について、何と呼ばれるもので、どういいうものが説明している。〈Task 2で評価〉	海外から来た友達に知ってもらうために、日本のお店に売っている商品について、何と呼ばれるもので、どういいうものが積極的に説明しようとしている。〈Task 2で評価〉
			124～125		1	Task、Lesson 9をふり返ろう、Grammar	①Part 1～3で扱った英語のしくみをふり返り、意味・形・使い方を理解することができる。Let's Useの動画を視聴し、自分の考えた表現に言い換えて表現することができる。【Grammar】 ②本文内容をふり返って情報を整理することができる。【Task 1】 ③コンビニエンスストアに売っている商品を外国人に説明することができる。【Task 2】	Grammar： 1. SVOC [V＝make、O＝〈人・もの〉、C＝形容詞] 2. SVOC [V＝call、O＝〈人・もの〉、C＝名詞（呼び名）] 3. SVO＋原形不定詞 [V＝let、help] ■Task：例を参考に、コンビニエンスストアに売っている商品を外国人に説明する。 Grammar：Lesson 9で学んだ英語のしくみを使って、やり取りの練習をする。			○	(イ)		○		話すこと〔発表〕	【知識】動詞callなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋名詞・形容詞〕、動詞letなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞〕の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】あるものの情報について、動詞callなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋名詞・形容詞〕、動詞letなどを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞〕の文を用いて、口頭で説明する技能を身につけている。〈パフォーマンステスト〉	留学中に日本文化について説明するために、選んだものが何と呼ばれるもので、どういいうものを口頭で説明している。〈パフォーマンステスト〉	留学中に日本文化について説明するために、選んだものが何と呼ばれるもので、どういいうものを口頭で積極的に説明しようとしている。〈パフォーマンステスト〉	
																	書くこと	【知識】動詞callを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋名詞〕の文の特徴やきまりを理解している。 【技能】あるものの情報について、動詞callを用いた〔主語＋動詞＋目的語＋名詞〕の文を用いて書く技能を身につけている。	外国に住む友人からのメールを読んで、伝えたいことのメモをもとにして、返信のメール文を完成させている。	外国に住む友人からのメールを読んで、伝えたいことのメモをもとにして、返信のメール文を完成させようとしている。
		Activities Plus 5 【話すこと〔やり取り〕(イ)】	126		帯活動	－	Lesson 9までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりすることができる。	Lesson 9までの言語材料 ■Lesson 9までに学習したさまざまな文のしくみや表現を使って、質問したり2文以上で答えたりする。					(ア)			◇誕生日に欲しいものなど ☆即興で対話する	話すこと〔やり取り〕	【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身につけている。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。	自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答しようとしている。
Tips for Writing ③ 【書くこと(イ)】	127		1	－	読み手を意識して、クラス新聞の記事を書くことができる。	既習事項 ■新聞の構成要素であるHeadline（見出し）、Lead（リード）、Body（本文）を活用して、読み手を意識した記事を英語で書き、クラスで英字新聞をつくる。							(ウ)	●クラス新聞 ◇クラス内のニュース ▲報告する ☆新聞形式でレポートにまとめる	書くこと		クラスメートに自分のことを知ってもらうために、この1年間の学校生活の中で、思い出に残ったことを伝えるクラス新聞の記事を書いている。	クラスメートに自分のことを知ってもらうために、この1年間の学校生活の中で、思い出に残ったことを伝えるクラス新聞の記事を積極的に書こうとしている。		
Project 3 Let's Introduce Japanese Culture 日本文化について、特徴を多面的にとらえて表現することができる。 【聞くこと(イ)、話すこと〔発表〕(イ)、書くこと(イ)】	128～131		4	－	日本文化について、特徴を多面的にとらえて表現することができる。	既習事項 参考資料：Attractive Japanese Cultures（さまざまな日本の文化紹介例） ■参考資料の例文をふまえて、グループで日本文化について紹介する英文を書き、クラスで発表する。			(イ)	○	○	(ウ)	(イ)	●学校 ◇日本文化紹介 ▲説明・発表する ☆説明のしかたを工夫する	話すこと〔発表〕	【知識】日本文化について、特徴を多面的に捉えて説明する際に必要な語彙や表現を理解している。 【技能】日本文化について、特徴を多面的に捉えて説明するまとまりのある内容を説明する技能を身につけている。	友達に日本文化についてより知ってもらうために、日本文化について、自分の感想を含めて発表している。	友達に日本文化についてより知ってもらうために、日本文化について、自分の感想を含めて発表しようとしている。		
															書くこと	【知識】日本文化について、特徴を多面的に捉えて説明する際に必要な語彙や表現を理解している。 【技能】日本文化について、特徴を多面的に捉えて説明するまとまりのある内容を書く技能を身につけている。	友達に日本文化についてより知ってもらうために、日本の文化について、事実をまとめ、まとまりのある記事を書いている。	友達に日本文化についてより知ってもらうために、日本の文化について、事実をまとめ、まとまりのある記事を書こうとしている。		

学習月		単元名 単元のGoal（内容理解、活動） 【学習指導要領の「領域別の目標」】 他教科等との連携	ページ	時数		パート名	パートごとの目標 【主に扱うコーナー】 (KS: Key Sentence、TK: Tool Kit、LL: Let's Listen、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try!)	主な言語材料 ■主な活動 (KS: Key Sentence、T&T: Think&Try!、R&T: Read&Try、PRA: Post-Reading Activity)	学習指導要領の「言語活動及び言語の働き」に関する事項							評価する領域と評価規準（例）			
2 学 期 制	3 学 期 制			単 元	パ ー ト				「言語活動に関する事項」の分類						●主な言語の使用場面 ◇話題・題材 ▲言語の働き ☆工夫	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
									ア 小 学 校 内 容 の 定 着 を 図 る も の	イ 聞 く こ と L	ウ 読 む こ と R	エ 話 す こ と [や り 取 り] SI	オ 話 す こ と [発 表] SP	カ 書 く こ と W					
3 月	3 月	Reading 3 How William Hoy Changed Baseball 内：場面ごとに主なできごとをとらえ、登場人物の気持ちの変化を読み取る。【読むこと(イ)】 社会（公民）／道徳	132～136	5	1、2、3、4、5、Post-Reading Activity	物語ふうの伝記を読んで、場面ごとに主なできごとをとらえ、登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。	既習事項 ■物語ふうの伝記を読んで、場面ごとに主なできごとをとらえ、登場人物の気持ちを読み取る。 PRA：(1)できごとが起こった順に英文を並べる。(2)イラストを活用し、キーワードを参考にして、この話を知らない人に内容を簡潔に説明する。								●物語ふうの伝記 ◇耳の聞こえない野球選手の活躍 ☆人物の気持ちの変化を読み取る	読むこと		伝記の内容について他の人に伝えるために、場面ごとに主なできごとをとらえ、登場人物の気持ちの変化を読み取っている。	伝記の内容について他の人に伝えるために、場面ごとに主なできごとをとらえ、登場人物の気持ちの変化を読み取ろうとしている。
		Further Reading Somebody Loves You, Mr. Hatch 【読むこと(イ)】 道徳	137～142	5	1、2、3、4、5、Post-Reading Activity	物語を読んで、場面ごとに主なできごとを捉え、登場人物の気持ちを読み取ることができる。	既習事項 ■物語を読んで、場面ごとに主なできごとを捉え、登場人物の気持ちを読み取る。 PRA：(1)本文の内容に合うように、英文の空所に適切な英語を書く。(2)最後の場面のあとの登場人物のやり取りを想像して演じる。							○	●物語文 ◇プレゼントの誤配達から起こる騒動 ☆文章の概要を把握する	読むこと		物語を楽しむために、時間の流れに沿ってできごとを理解したり登場人物の心情を理解したりしながら読み進め、概要や要点を捉えている。	物語を楽しむために、時間の流れに沿ってできごとを理解したり登場人物の心情を理解したりしながら読み進め、概要や要点を捉えようとしている。
		語形変化のまとめ／形容詞・副詞比較変化表／不規則動詞変化表／重要構文復習リスト／Think & Try!活動例／分野別用語集／Word List						144～176	—										
つづりと発音／Can-Do自己チェックリスト						④～⑥	—												